

令和8年度企画展

昭和

の

カタチ



①家具調カラーテレビ(ナショナルTF-92YA 昭和42年(1967))②蓄音機(昭和戦前期)
③真空管ラジオ(NR6M-59 昭和33年(1958)頃)④球体洗濯器(カモメホーム洗濯器 昭
和32年(1957))⑤扇風機(三菱D-30ND 昭和35年(1960)頃購入)⑥タイプライター(オリ
ベッティLettera32 (MS32) 昭和42年(1967)頃)⑦電気炊飯器(東芝RC-74 昭和40年
代)⑧ホットカラー(ナショナルEH-925 昭和50年頃)⑨ソノシート(昭和40年代)

令和8年 10月9日(金)～12月20日(日)

入館
無料



伊勢崎市
赤堀歴史民俗資料館

〒379-2204 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98番地
電話：0270-63-0030 FAX：0270-63-0087
開館時間：9時00分～17時00分(入館は16時30分まで)
休館日：月曜日・祝日の場合はその翌日(10月12日(月)、11月23日(月)
は開館、10月13日(火)、11月24日(火)は休館)

企画展 昭和の カタチ

令和8年は、昭和元年から満100年の節目を迎えます。昭和期は、戦争の惨禍を経験する一方、その後の目覚ましい経済成長によって暮らしは大きく変化し、その歩みは現代へとつながっています。この激動の時代の中、エネルギーの転換とともに次々と誕生した電化製品や便利な生活用品は、当時の暮らしに大きな変化をもたらしました。そこには現代とは異なる「昭和のカタチ」が存在しています。

本企画展では、当館がこれまで収集してきた昭和の生活道具の資料を通して、「昭和のカタチ」に焦点を当てます。急速な変化と多様化、そして想定外の出来事が相次ぐ時代である現代だからこそ、昭和という時代をどのように捉えることができるのかを考えます。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

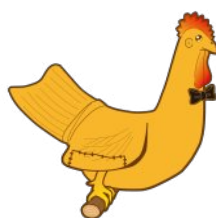


⑬



⑭

①電気扇(日立A3-40型 昭和10年代前半)②真空管ラジオ(ナショナルUS-150民間放送3号型 昭和26年(1951))③白黒テレビ(ゼネラルTS-141 昭和29年(1954)頃)④真空管式テープレコーダー(P-3 昭和29年(1954))⑤電気コンロ(サンヨーSH-3型 昭和30年代)⑥スクーター(ラビットジュニアS301B型123cc 昭和39年(1964)頃)⑦洗濯機(FW-511 昭和30年代前半)⑧電気冷蔵庫(シャープSRT-104 昭和40年代前半)⑨ジンジャコロケ屋台(三代目 昭和期後半)⑩FM付オートステレオ(日本コロムビアDSC-735 昭和30年代後半)⑪魔法瓶ポット(エベレスト 昭和40年代前半)⑫電子ジャー(タイガー電子ジャー炊き立てDFC-36N 昭和47年(1972)頃)⑬ベータ方式ビデオカセットレコーダー(ソニーSL-8500(ベータマックスX2) 昭和52年(1977))⑭ファミリーコンピュータ(任天堂HVC-001 昭和58年(1983))スーパーマリオブラザーズ(昭和60年(1985))



赤堀茶臼山古墳出土鶏形埴輪
キャラクター
「ハニ・ワトリ」

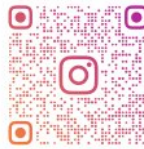
伊勢崎市 赤堀歴史民俗資料館

〒379-2204

群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98番地

電話：0270-63-0030 FAX：0270-63-0087

Mail:siryokan@city.isesaki.lg.jp



ISESAKI_AKABORI_MUSEUM



入館
無料

【交通のご案内】

○いせさきコミュニティバス赤堀シャトルバス

JR伊勢崎駅南口発 赤堀支所前下車徒歩5分

○波志江・赤堀・あずま連絡バス JR国定駅南口発 赤堀支所前下車徒歩5分

○北関東自動車道伊勢崎ICから車で約15分 ○JR国定駅からタクシーで約10分